

25号

との闘い



体験記

情報収集と 事前対策

%

9月6日、夕方から台風の影響による雨や風に関する気象情報が刻々と発表され、7日の夜半には房総半島の南海上を通過する見込みである。時の経過に伴って、各種注意報が警報に変わり、風雨も次第に強くなってきた。当番隊員により、土のう積み、水門の開放、排水等の事前対策に取り組む。一方、管内各市町も災害対策本部を相次いで設置し、その対策に追われていた。



119番はこの指令室に



災害発生

22時11分、八日市場市街地で崖くずれが発生し「住家倒壊、逃げ遅れた者がいる」の119番通報、一瞬緊張感がはしった。警戒出場中の2個小隊を除き、警に待機中の3個小隊を現場に急行させ救出にあ



災害現場へ向けて

たらせた。思いもよらぬ場所での崖くずれ、いやな予感がしてきた。

非常召集%

台風が近づくとつれて、20mをこえる風と1時間100mmをこえる雨、総雨量も300mmをこえたようす。いつ同じような災害が起きてもおかしくない。

9月7日22時20分、非番消防職員と消防団員に非常召集を発令、特別警戒体制に入る。人命救助第一として出場統制を行い、消防団員も地元警戒にあたらせた。

相次ぐ災害

%

特別警戒体制に入るや、床上浸水や土砂くずれによる被災者の救助要請、河川堤防決壊による人命危険などの通報が続々と入ってくる。真夜中の零時というのに、災害は容赦なく襲ってくる。雨は2時から3時が最も強くなるという情報も入ってきた。消防隊は全隊出場中である。一現場の救助活動が終れば直ちに次の現場へ急行、この繰返しである。